

20(金)おど! 倫理時、私事ですか年度末工事に追いついて、追いつけず
この時は未だ余裕が有り、今はありません、困難を満喫したい

今週の倫理 917号 有難や有難や。

2015.3.21~ 3.27

明日はお墓参りでも先祖にお願いしよう!

辛せ運ぶ林鳥



三月のテーマ

赤信号

その困難には 意味がある

え・古屋智子

A KB48という日本のトップ
アイドルグループに所属し
ていた指原莉乃さん(22歳)。平
成二十五年六月、「選抜総選挙」と
いうファン投票イベントで一位を
獲得しました。

彼女は、前年の総選挙では四位
でした。その直後、福岡県博多で
活動するHKT48に移籍となり
ます。「恋愛禁止」というグルー
プ内のルールを破ったことが発覚し
たからです。

その際、総合プロデューサーの
秋元康氏から「貢献しなさい」と
諭されます。移籍後、指原さんは、
当時まだシングルデビューを果た
していなかったグループを大いに
盛り上げ、全国のファンを惹きつ
けます。その結果、一度はスキヤ
ンダルで引退まで追い詰められた
状況から一転、冒頭の選挙でシン
グル曲のセンターポジションを勝
ち取るに至ったのでした。

指原さんは著書『逆転力くピン
チを待て〜』(講談社MOOK)で
次のように語っています。「挫折で
きてラッキー。私の人生にはピン

チが必要なんです。もつともつと、
貢献しなければいけない」

突如、左遷に近い処遇を課せら
れるという困難の内に、指原さん
は「今は、貢献する時、役立つ時、
喜ばれる存在になる時」と、起き
た事象が教える意味を捉えます。
そして、新しく加わったグルー
プのメンバーを励まし、支え、ファ
ンの期待にも応えるという働きに
よって、自分の個性が最も輝く生
き方を手にしたのでした。

*

倫理法人会役員として尽力され
ている食肉産産店を営むSさん。
平成二十三年六月、資金繰りが悪
化し、倒産の危機に立たされます。

倫理経営指導を受けると、父の
墓参を通じて、感謝を深めること
の大切さを教えられます。Sさん
は墓石の掃除、花を手向け、必死
に詫び、応援の要請を亡き父に訴
えたのでした。夜中に飲み歩く、
二十年來の生活も改めました。

幾週間後、氏の商品がテレビ放
映されるハブニングによって、爆
発的な売れ行きとなり、資金繰り

が回復するというドラマが会社を
救います。

Sさんはこの一連の経験を通し
て、亡き父の真の願いに目覚め、
愛情を知りました。倒産の危機そ
のものが、「父の真の息子となり、
途切れていた絆を紡ぎ直すことが
必要だ」と気づくための、刺激と
して起きた苦しみだったのだと、
その意味を解釈したのでした。

紹介した事例に共通しているの
は、耐え難いような環境下に自身
が置かれた時、その事象が示唆す
るメッセージを的確に捉え、改善
あるいは向上のための取り組み
(実践)に全身全霊を傾けたこと
であるといえるでしょう。

純粹倫理では、苦難の意味を知
り、原因を取り去り、自然な生活
に戻るための実践に挑む時、これ
まで人の役に立ってきた努力が報
われるというのです。

幸福への活路は、生活の赤信号
として知らされるメッセージに勇
気を奮い起こして向き合うことか
ら開かれます。その時、ピンチは
チャンスへと昇華されるのです。